

第4回

広島大学大学院医歯薬学総合研究科発表会（医学）

（平成17年2月21日）

—学位論文抄録—

1. Vascular function in patients with lower extremity peripheral arterial disease: a comparison of functions in upper and lower extremities
（下肢閉塞性動脈硬化症患者における血管機能—上肢と下肢の比較検討—）

真田 博明

展開医科学専攻病態制御医科学講座（外科学）

【目的】閉塞性動脈硬化症患者における血管内皮機能障害の程度に関する報告はほとんどされておらず、本研究では特に閉塞性動脈硬化症患者における下肢の

血管内皮機能の評価にも着眼し、測定を行った。

【対象と方法】閉塞性動脈硬化症患者群57例、非閉塞性動脈硬化症患者群24例にて比較検討を行った。血管内皮機能はプレチスモグラフィ法を用いた反応性充血後の前腕血流量（FBF: forearm blood flow）および下腿血流量（LBF: leg blood flow）にて評価した。

【結果】反応性充血後のLBFは閉塞性動脈硬化症患者において有意な低下を認めた。しかしながらFBFは閉塞性動脈硬化症患者群において非閉塞性動脈硬化症患者群と比較して低下傾向を認めなかった。

【結論】閉塞性動脈硬化症患者において下腿血流量を測定することは動脈硬化進展予防の観点において鋭敏な指標となり、臨床的に有意義であると考えられる。